



神栖

神栖市市勢要覧 2019 A Profile of The City of Kamisu 2019

原点と未来
Origin & Future

茨城県 神栖市

神栖市市勢要覧 2019

原点と未来

目次

「神栖の今」を3つの視点から望む 4

神栖の原点 ～ The Origin of Kamisu ～ 10

第二次神栖市総合計画 18

スポーツツーリズム

スポーツタウン日本一を目指して 28

ジークス市長対談

スポーツとまちづくりの未来を語る 36

メイドイン神栖 42

かみすの恵み 50

神栖歳時記 52

神栖市統計資料 54

議会と行政 57

关于发行

美丽的鹿岛滩和利根川河环绕在神栖市的周围，使之成为水资源丰富、气候温暖、绿树成荫、情趣盎然的绿都城市。利用这些自然的恩惠，神栖市的农业、渔业、以及商业，工业等各个产业都得到均衡发展，青椒的出货量为全国首位，水产加工制品等也是神栖的特产。除此之外，以鹿岛港为中心的鹿岛临海工业地带，分布着以石油化工为首的 180 多家企业，制造品出货量荣居茨城县第一位。

神栖市的城市建设，以共同创建大家喜爱的神栖市，让热爱神栖的人们充满整个城市为目标。在神栖城市建设方向性规划“共创神栖城市建设计划（第2次神栖市综合计划）”的指引下，确定了“大家共创新神栖”的城市未来面貌图，致力于建立一切以民为本、站在市民的立场和角度进行的城市建设。除了提供医疗、社会福利、灾害防御等与生活息息相关的各种社会支援外，还积极开展以“儿童教育日本第一”、“体育城市发展日本第一”为首的各类项目建设。伴随着令和这个新时代的开幕，神栖将与所有市民共同努力，创建充满安心感和城市魅力的未来都市。

通过本要览，希望能帮助您发现与感受神栖市独特的魅力。

2019年9月

神栖市长 石田进

発行にあたって

広大な鹿島灘と利根川に囲まれた神栖市は、豊富な水資源と温暖な気候に恵まれ、各産業がバランス良く発達し、スポーツも盛んな潤いのあるまちです。この自然の恵みを生かし、全国一の出荷量を誇るピーマンや水産加工品などの特産品を産するほか、鹿島港を中心とした鹿島臨海工業地帯には石油化学をはじめとした180社余りの企業が立地し、茨城県で第1位の製造品出荷額を誇っています。

本市は、かみすを好きな人があふれるまちを目指し、まちづくりの方向性を示す「かみす共創まちづくりプラン（第二次神栖市総合計画）」において、市の将来像を「みんなで作る新しい神栖市」と定め、市民の目線に立った市民本位のまちづくりに取り組んでおります。医療・福祉・防災など、生活に密着した切れ目のない支援のほか、「子育て日本一」をはじめとする各種プロジェクトの推進、さらには「スポーツタウン日本一」を目指した取り組みなどを積極的に展開し、新たに幕をあけた令和という時代とともに、安心と魅力にあふれたまちづくりを市民の皆さんと進めてまいります。

この要覧が、神栖市の魅力を発見していただく一助となれば幸いです。

2019年9月

神栖市長 石田 進



Foreword

Surrounded by the Sea of Kashima and the Tone River, the City of Kamisu is verdant, comfortable town that is blessed with abundant water resources and a temperate climate. Kamisu has developed with a balance of economic activities, including farming and fishing which make use of the area's natural blessings, as well as trade and manufacturing, among other businesses. Kamisu produces a wealth of specialty foods such as marine products and ships more bell peppers than anywhere else in Japan. At the same time, there are over 180 petrochemical and other industrial companies that are located in the Kashima Coastal Industrial Zone that is centered around the Port of Kashima. Kamisu boasts the highest value of shipped manufactured products in Ibaraki Prefecture.

The city is putting efforts to become a town full of people with Kamisu pride. In the "Kamisu Co-Creation Plan for Town Development (Part 2 of the Kamisu Comprehensive Development Plan)", we established the city's future vision to "Building a new Kamisu City together." Through this plan, are working on citizen-based town development that sees through the eyes of the general public.

In addition to our seamless support that includes medical care, welfare, and disaster prevention, the city is actively engaged in expanding various projects such as becoming "Japan's Best City for Raising Children" and "The No. 1 Sports Town in Japan." Along with the dawn of the Reiwa Era, we will work with our citizens to promote town development full of reassurance and charm.

We hope this guidebook will help you discover the charm of Kamisu City.

September 2019
Susumu Ishida
Mayor of Kamisu

天空から見る神栖

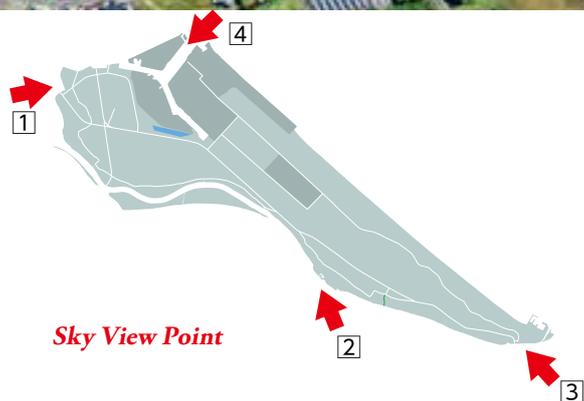
きらめく海と川と風、

そして、長い歴史と力強い成長の軌跡。

神栖は、個性的な「かお貌」と独特のランドマークを有し、

世界と結び、未来へとつながっています……。

そこで、3つの視点から神栖の今の姿を眺めてみました。



Feature article

Discovering Kamisu from 3 Different Angles

Kamisu is blessed with sparkling sea, river and wind. It is a town that has developed on the foundation of its long history and dynamic growth. The city has the most distinct shape and unique landmarks. Kamisu is connected to the world and to the future. We will introduce the present-day Kamisu from 3 different angles.

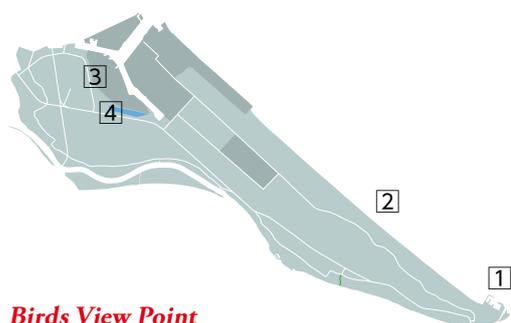
卷頭特集◎ 从3种视点来看 [神栖的现在]

神栖市，是充满了海与河与风的闪耀城市。同时也是拥有古老的历史和强劲有力成长轨迹的城市。凭借它特有的个性“面貌”和独特地标，神栖市与世界接轨，也与未来相连……。于是，让我们透过3种视点，来感受如今神栖的身姿吧。

Sky View



鳥の目で見える神栖



Birds View Point

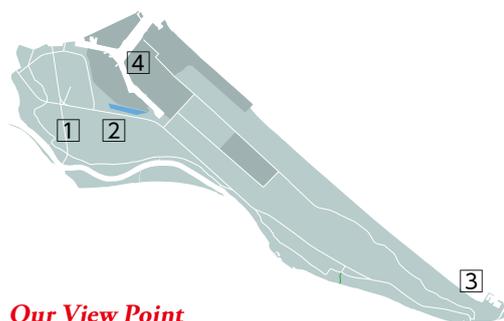
- ① 波崎漁港 ② 風力発電
③ 港公園 ④ かみす防災アリーナ

Birds View



Our View

わたしたちが見る神栖



Our View Point

- 1 息栖神社
- 2 神之池緑地
- 3 波崎海岸
- 4 鹿島臨海工業地帯



神栖の原点

命名の由来

命名の由来となった神之池と息栖神社は、水とともにあったこの地の歴史を象徴する存在です。

水に恵まれた広大な土地があったからこそ、世紀の大事業「鹿島開発」も実現しました。水と砂丘に囲まれた農村・漁村の営みは、鹿島開発によって想像を超える変貌を遂げましたが、時を超えて受け継がれてきた文化遺産は、今も変わらぬ姿で共存しています。

この「神栖」に流れてきた豊かな時をたどりま



The name Kamisu derives from Gohnoike pond and Ikisu Shrine. They symbolize the historical connection this area had with water. At the base of the national project of the century "Kashima Development" lies a vast land blessed with abundant water. While the tranquil agricultural and fishing village surrounded by water and sand dunes had transformed drastically with the Kashima Development project, its cultural heritage passed down for centuries coexists in harmony to this day. We will trace the rich history of Kamisu.

神栖与水同在，神栖市的命名取自神之池和息栖神社，这两个地方是神栖历史的象征。正因为有水资源丰富的广阔土地，才实现了创世纪的大事业“鹿岛开发”。紧接着，通过鹿岛开发，被水和沙丘包围的农村·渔村的生活实现了超出想象的变化。同时，跨越了时间被继承下来的文化遗产，至今也以不变的身姿与神栖市的各种发展共存着。让我们来感受这片「神栖」的土地经历过的丰富多彩的时光吧。



営み



①埋め立て前の神之池の風景 ②手子后神社の大潮祭 ③開発前の神之池を復元したジオラマ
④波崎海岸の砂丘 ⑤目方を量って魚を買い付ける人 ⑥開発前の神之池(昭和22年 米軍による航空写真)
⑦深芝浜の地引網漁 ⑧網元をしていた漁家の山本家住宅 ⑨熟蚕の収穫

どこまでも続く広い砂丘

はるか遠い昔、鹿島灘や利根川から運ばれた砂が堆積し、やがて陸地となったことから、神栖市域にはどこまでも続く広い砂丘がありました。海に浮かぶ沖洲^{おきす}がなまって「息栖」、砂の陸地が刃先のように伸びたのが「波崎」の由来とも言われ、砂の山を「うずも」と呼び、砂地に黒松を植えたから「植松」など、地域の成り立ちを伝える地名が数多く残っています。

神之池がもたらした恵み

こうした土地にあつて、豊かな水をたたえた神之池はまさに砂丘のオアシス。かつての神之池は、周囲約8キロメートル、面積約300ヘクタールと広大で、三角おにぎりの形をしていました。豊かな水は一千年以上も前から農業用水として土地を潤し、人々の営みになくならない存在でした。

また、年間を通して漁が行われ、コイ、フナ、ウナギ、エビなど豊富な魚介類が水揚げされました。明治時代にはコイの養殖も行われ、さらに明治から昭和20年代までは鴨猟が行われていました。

神之池は観光資源としても注目され、大正時代には別荘地・保養地として「鹿島理想郷」が造成され、近くの砂丘には



サンドスキー場やグライダー滑空練習場がありました。昭和25年(1950)には、神之池と砂丘が茨城百景に選ばれています。

半農半漁のまち

池畔や海岸沿いの人々は半農半漁で生計を立てていましたが、砂丘地帯を畑地や水田に変えるには大変な苦勞がありました。江戸時代の

新田開発の時代には、砂地を掘って「掘下げ田」と呼ばれる独特の水田が作られました。

昭和20年代には砂質の畑地でサツマイモや麦が育てら





れ、戦時中はデンブ製造のためのサツマイモ生産が盛んになり、「デンブ王国」と呼ばれるほど数多くのデンブ工場が集中していました。

一方、農家の副業として盛んに行われていたのが養蚕です。日川には養蚕発祥の伝説が残る蚕霊神社があり、明治時代末頃は繭の生産が水産物を追い越すほどだったといえます。

また、波崎地域ではイワシを中心とする地引き網漁やタコ漁、ハマグリ漁などで豊富な漁獲量を誇り、水産加工業も発展しました。手子后神社は昔も今も、航海の安全や豊漁を祈願する人々の信仰を集めています。こうして、農業や漁業から派生した産業も加わり、人々の生活は徐々に豊かになっていきました。

「波崎」「神栖」の地名が誕生

このような営みを背景に、神栖地域の村々が合併してより大きな村へ、そして町へと変わっていきます。昭和3年（1928）、東下村が町制を施行し「波崎町」が発足。昭和30年（1955）に軽野村と息栖村が合併し、この地域のシンボルである神之池と息栖神社から「神栖村」の村名がつけられました。その後、昭和45年（1970）に町制施行、平成17年（2005）には合併して神栖市が誕生しました。地域の歴史や人々の営みを遡れば、神栖の名に込められた深い思いを感じ取ることができます。

鹿島開発



絶好の立地条件

昭和30年代後半、この地に劇的な変化が訪れます。海と川に囲まれた農業と漁業のまちに、大型の建設機械が行き交い、工事の槌音が響きわたりました。世紀の大事業「鹿島開発」です。

日本が高度成長期を迎えた昭和30年代、新しい工業地帯の開発が求められていました。その建設地に鹿島エリアが選ばれたのには、大きく3つの理由があります。1つ目は鹿島灘に面した広大な土地があったこと、2つ目は霞ヶ浦・北浦など豊かな水資源があったこと、3つ目は首都圏に近かったこと。つまり、新しい臨海工業地帯として絶好の条件を兼ね備えていたからです。

県知事の英断が国を動かす

この鹿島開発を決断したのは、当時の岩上二郎茨城県知事でした。県内を視察して回った際に、砂塵が舞う土地で農業を営むこの地の苦しい現状を知り、人々の生活を豊かにしようと決意。「農工両全」と「公害のないコンビナート建設」を目標に掲げ、強い信念を持って構想を打ち出しました。交通の不便さから「陸の孤島」とも呼ばれた小さな農村・漁村を、港を中心とした巨大な近代都市へ発展させようと、昭和36年（1961）に





- ①埋め立て中の神之池
- ②神之池埋め立て風景 ③ベルコン通り
- ④鹿島港開発風景
- ⑤建設が進む東部コンビナート
- ⑥建設途上の鹿島港中央航路
- ⑦神之池の面積は7分の1に
(昭和49年 国土地理院による航空写真)
- ⑧開港記念式典挙行政
- ⑨外国から原油タンカーが初入港

進められました。昭
和40年（1965）に中央航路の掘り込み工事を開始。鹿島港は、陸地を掘り込んで作る「掘込式港湾」です。従来の「埋立式」とは違い、経験したことのない技術的な困難を克服しながら工事が進められました。

昭和38年（1963）に鹿島港の起工式が行われ、翌年から用地買収がスタート。この時、独特な用地取得法「6・4方式」（鹿島方式）が採用されました。これは、地権者に所有する土地の4割を提供してもらい、6割を再配分するというものです。

夢を形にした「鹿島港」

茨城県が「鹿島灘沿岸地域総合計画―臨海工業地帯造成計画」（マスタープラン）を策定。いよいよ鹿島港の建設が実現に向けて動き始めます。鹿島開発は想像を絶する大規模開発であり、巨額の費用がかかりますが、国家プロジェクトとして国の全面的な支援を得られることとなりました。



⑧



⑨

そして昭和44年（1969）、10万トン級の大型船舶が入港できる世界有数の掘込港が完成。開港記念式典が盛大に挙行されました。ついに、鹿島エリア発展の象徴となる鹿島港が実現したのです。

工業都市へと生まれ変わった神栖

鹿島港建設と歩調を合わせ、工業用地の造成も着々と進められました。昭和42年（1967）には神之池の埋め立てが始まり、池の大きさは約7分の1となりました。

工業用水道・下水道、電力送電線などの建設も急ピッチで進められ、昭和45年（1970）には国鉄鹿島線と鹿島臨海鉄道が相次いで開通。日本を代表する企業が続々と進出し、それとともに人口は増え続け、町の財政規模も増大、町民1人あたりの所得は県内上位となりました。

加えて、教育文化施設や公園緑地の充実度も県平均を上回るまでに成長。鹿島開発により生まれ変わった神栖は、我が国
有数の工業都市へと発展を遂げました。

息栖神社

由緒ある東国三社の一つ

神之池とともに「神栖」の地名の由来となった息栖神社。もともとは利根川の航行の安全を祈願する神社として日川に置かれましたが、大同2年（807）に息栖に遷されたと伝えられています。ご祭神の久那戸神（岐神）は路の神・井戸の神、天鳥船神は交通守護の神、住吉三神は海上守護の神と、いずれも水や交通に関わる神で、地域で厚い信仰を集めました。

近年、東国三社詣やパワースポット巡りで息栖神社への注目が高まっています。が、実は江戸時代にも、東国三社詣の一大ブームが起こっていました。そもそも東国三社というのは、鹿島神宮、香取神宮、息栖神社の総称です。なぜ息栖神社が、全国的に有名な鹿島神宮・香取神宮と並び称されたのかというと、「国譲り」神話で、鹿島神宮と香取神宮の神々を息栖神社の神が道案内したとされているからです。

江戸時代には舟で巡拝

東国三社詣のはじまりには、利根川が



深く関わっています。江戸時代初期、江戸湾に注ぐ利根川を銚子に向かわせる河川改修「利根川の東遷」が行われました。これにより舟運が発達し、物資を運ぶだけでなく旅人にも大いに利用されました。そして、東国三社を舟で巡拝しながら、下利根地方の風光明媚な景色を楽しむ物見遊山の旅が盛んになったのです。

特に江戸時代中期には、お伊勢参りから無事に帰ったことを感謝する「下三宮参り」「お伊勢参りのみそぎの三社参り」などと呼ばれる東国三社詣が大流行しました。江戸をはじめ各地から訪れる人々を運んだのが、木下茶船と呼ばれる乗合船です。一日平均12艘が運行され、年間の利用者数は約1万7千人にもものぼったといわれています。当時、息栖神社の目の前に息栖河岸があり、木下茶船が行き交って連日大変な賑わいでした。

そうした中、江戸時代から明治、大正にかけて、松尾芭蕉をはじめ多くの文人墨客もこの地を訪れました。

歴史を今に伝える佇まいと祭事

息栖神社で古くから有名なのが、一の鳥居の左右にある「忍潮井」で、日本三霊泉の一つとされています。千年以上もの間、井戸に据えられた男瓶・女瓶から清水が湧き出しているとされ、潮をおしつけて清水が湧くことから忍潮井と名付

①神門 ②一の鳥居 ③社殿
④息栖河岸 ⑤旧社殿
⑥江戸時代を復元したジオラマ



けられました。井戸を覗き込んで瓶が見えると幸運が訪れるといわれています。

現在の神門は江戸時代の弘化4年（1847）、社殿は昭和38年（1963）に建てられたものです。樹齢約千年と推定される御神木の夫婦杉や、精霊が宿る招霊の木も葉を茂らせています。

息栖神社では、さまざまな祭事が今に受け継がれています。なかには、12年に一度の鹿島神宮「御船祭」で息栖神社の船が先導役を務めるなど、東国三社のつながりが色濃くあらわれる祭事もあり、歴史の奥深さを感じることができます。

歴史遺産

神栖市に遺る、有形・無形の文化財の数々。それらは、いにしへの知恵や、人々の生きた証を、雄弁に物語ります。悠久の歴史を未来へとつないでくれる、地域の宝です。



山本家住宅
〔国指定重要文化財〕
山本家は網元をしていた漁家で、名主を務めたこともある旧家です。住宅はかやぶき屋根の寄棟造で、建設年代は18世紀前半と推定されます。この地方の民家の特性を知るうえで重要なものです。



大鳥神社 酉祭
〔市指定無形民俗文化財〕
大鳥が祭られた神社です。毎年11月23日に五穀豊穡を願う祭礼「酉祭」が行われます。これは由緒ある「宮遷しの祭り」で、古式ゆかしい儀式の後、地区内を神輿が練り歩きます。



獅子舞(ささら舞)
〔市指定無形民俗文化財〕
田畑地区に古くから伝わる三匹獅子舞。江戸時代中頃までは鹿島神宮、その後息栖神社の大祭に奉納され、現在は田畑の白鳥神社に奉納されています。五穀豊穡や無病息災を祈願して舞われます。



手子后神社 大潮祭鳴り物
〔市指定無形民俗文化財〕
波崎地域の尊崇を集める神社です。海上安全と豊漁を祈願する祭礼「大潮祭」が旧暦6月15日付近の土・日曜日に行われ、勇壮な神輿と鳴り物が祭りを盛り上げます。



木造大日如来座像(神善寺)
〔県指定有形文化財〕
神善寺の御本尊で、室町時代の作と推定されます。檜材の寄木造りで、漆箔が施されています。



紙本両界曼荼羅(正福寺)
〔市指定有形文化財〕
両界曼荼羅とは、「大日経」「金剛頂経」の二大密教経典で説かれる内容を、胎藏界曼荼羅、金剛界曼荼羅として図絵にしたものです。室町時代末期の作と推定されます。



蚕霊神社
茨城県は養蚕発祥の地とされ、インドから日本に養蚕を伝えたという「金色姫伝説」を持つ神社が県内3カ所にあります。日川の蚕霊神社は、「常陸国の三蚕神社」の一つとして有名です。



権現塚古墳
長さ約20m、標高約6mの東西方向を主軸とする神栖市内に現存する唯一の前方後円墳。古墳時代前期に築造されたものと推定されています。

新しい、神栖市



計画策定の目的

将来にわたって、市民が夢と希望を持ち、安心して暮らせる元気なまちを目指し、その実現に向け、新たなまちづくりの指針として、第2次神栖市総合計画を策定しています。

計画の構成と期間

この計画は「将来ビジョン」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されます。

将来ビジョン

長期的な展望のもと、まちづくりの目標となる将来像を示すとともに、まちづくりの理念やその実現のための施策の体系などを定めます。
計画期間は2018年度を初年度とし、2022年度を目標年度とする5カ年です。

基本計画

将来像を実現するため、まちづくりの理念や施策の体系に基づき、まちづくりや行政経営のための目標や施策の具体的な方向性を示します。
計画期間は将来ビジョンと同様に5カ年です。

実施計画

基本計画に定められた目標を達成するための具体的な事業とその計画などを示すものです。また、毎年度の予算編成の指針としての役割を持つものです。
計画期間は3カ年で毎年度見直しを行います。

みんなで作る

Part 2 of the Kamisu Comprehensive Development Plan
Kamisu Co-Creation Plan for Town Development
Building a new Kamisu City together
~To become a town full of people with Kamisu pride~
Part 2 of the Kamisu Comprehensive Development Plan is a guideline for the new town development which aims to become a safe and vibrant city where citizens can live with hopes and dreams.

第2次神栖市総合計画 共創神栖城市建设计划
大家共创 新神栖
~共同创建大家喜爱的神栖市，让热爱神栖的人们充满整个城市~
神栖市以建设对未来充满梦想和希望，市民们能安心生活的健康活力城市为目标。为了实现这个目标制定了新的城市建设规划方针，接下来将为大家介绍神栖市的“第2次神栖市综合计划”。



将来像

みんなで作る新しい神栖市

～かみすを好きな人があふれるまちを目指して～

まちづくりの理念

- 1 市民が主役のまちを目指して
- 2 誰もが安心して暮らせるまちを目指して
- 3 効率的な行政経営を推進するまちを目指して

施策の大綱

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 市民と協働のまちづくり | 5 自然環境と調和したまちづくり |
| 2 安全性の高いまちづくり | 6 暮らしの質を高めるまちづくり |
| 3 人を育み若者を育てるまちづくり | 7 産業活力にあふれたまちづくり |
| 4 健康で人にやさしいまちづくり | 8 健全な行財政のまちづくり |

「将来像」を実現するため、3つの「まちづくりの理念」を基本として、8つの「施策の大綱」に基づいて各種施策を展開することとします。

←次ページから施策の大綱の8つを紹介します。

美しい砂浜をみんなで守る

毎年行われている海岸清掃は、市民有志による実行委員会が企画・実施し、2019年には約2,000人も市民が参加しました。



計画

1

市民と協働のまちづくり

市民主体のまちづくりを実現するために

市民の声を生かした魅力と活力にあふれるまちづくりは市民参画が必要不可欠です。そこで市民と行政がパートナーとして協力し合う「市民協働のまちづくり」を一層進めていきます。

また、学校や家庭、地域社会において人権感覚、人権意識の高揚を図るとともに、男女がともに自由な生き方を選択できる男女平等の意識を広めるための取り組みを推進します。



まちづくりサロンで市の未来を語り合う

市民協働によるまちづくりの実現を目指した対話の場(サロン)を市内各地で開催しています。

男女共同参画情報誌の編集・発行

市民が市民目線で取材執筆している「ハートフルかみす」は年2回発行され、男女共同参画に関する情報を分かりやすく知らせてくれます。



主な施策

- 協働のまちづくりの機運醸成
- 市民参画への環境づくり
- 地域コミュニティの醸成
- コミュニティセンターの整備・充実
- 人権感覚の育成・人権意識の高揚
- 男女平等を目指した意識づくりの推進

Town Development in Collaboration with the Citizens
We promote citizen-based town development.

创建与市民和谐协作的城市环境
推进实现以民为本的城市建设。



自助・共助の精神で地域を守る

毎年行われる神栖市総合防災訓練では、東日本大震災の経験を踏まえた、より実践的な訓練が実施されています。



**神栖警察署との連携で
安心した生活を**

神栖警察署、関係団体などと連携しながら、防犯、交通安全対策の強化を図ります。



東日本大震災を教訓にして

波崎総合支所・防災センターは、平常時には支所業務や市民の防災研修等を行う防災学習の拠点として利用し、災害時には一時避難者や中長期避難者を収容できる避難所となります。

計画
2

安全性の高いまちづくり

災害に強く、
非常時への備えのあるまちへ

安全な暮らしはすべての市民の願いです。今後、いつ起こるか分からないさまざまな災害に備え、防災施設、避難路などの整備や自主防災体制の充実など、防災対策を強化します。

また、誰もが安心して生活できるように、警察署、消防組織、関係団体などと連携しながら、防犯対策や交通安全対策の強化、救急救助体制の充実などに取り組みます。

主な施策

- 地域防災計画の推進
- 緊急時における情報発信体制の充実
- コンビナート防災の推進
- 応急救護知識の普及
- 防犯体制の強化
- 防犯意識の高揚
- 交通安全意識の高揚
- 消費生活情報や警戒情報の提供

Creating a Safe Environment
We promote town development with effective disaster-prevention and emergency measures.

创建安全性高的城市环境
建设成为有能力对应灾害以及特殊时期的安全城市。

伝統を守る地域の子どもたち

手子后神社の大潮祭鳴り物(市指定無形民俗文化財)を次世代に伝えるため、鳴り物教室を開催し、地域の大先輩から子どもたちへ伝統が受け継がれます。



計画

3

人を育み若者を育てる まちづくり

子ども笑顔が輝き、
若者たちが大きな夢を
描けるように

未来を担う子どもたちが個性豊かに活躍できるよう、教育環境の向上を図るとともに、一人ひとりの多様性を理解し、共生の心や国際性、郷土愛を身に付けた児童生徒の教育に努めます。また、市民が生きがいをもって暮らせるよう、生涯学習、文化、芸術、スポーツ・レクリエーションなどの機会拡充を図り、外国人を含め市民誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりを推進します。



図書館機能の整備と充実

新鮮かつ幅広い分野の図書館資料を収集するとともに、青少年に対しては、その多様さと世代の感性に合わせたサービスを提供します。

充実した学校給食

豊かな心とたくましい身体を育む教育に欠かせない給食は、市内3カ所の施設で厳重な衛生管理のもと、栄養とおいしさのバランスを追求しています。



主な施策

- 子育て支援体制の充実
- 学習指導の充実
- 青少年健全育成体制の構築
- 生涯学習推進体制の整備
- 芸術鑑賞や文化活動への参加促進
- 新たなスポーツの導入
- 多文化共生の推進
- 国際感覚の醸成・語学学習の促進

Fostering the Next Generation

We promote town development that brings out the smiles of children and allows the young to dream big.

育人为本、创建能培养出优秀年轻人的城市环境
希望孩子们的笑容闪耀，年轻人能描绘出远大的梦想。

児童の健全な育成環境を整備

子どもたちが遊びを通して心身ともに健やかに成長できるように、地域の遊び場としての児童館を過ごしやすい環境に整備しています。



健康寿命を延ばす施策を展開

筑波大学との連携により進めている生活習慣病予防疫学研究の動脈硬化検査に加え、特定健診での心電図検査と眼底検査を集団健診会場で実施しています。市民の健康寿命の延伸に寄与する施策の充実を図ります。



地域医療と福祉の充実

全市民が健康でいきいきと暮らせる健康都市・神栖。その実現のために、地域医療環境の整備を進めるとともに、きめ細かな福祉施策の拡充に努めます。

計画

4

健康で人にやさしい
まちづくり

医療&福祉環境の整備を進め、
だれもが幸せを
実感できるまちに

生活するすべての人がお互いに支え合い、自立して安心して生活できる環境づくりを進めるため、地域福祉、子育て支援、障害福祉、高齢者福祉、勤労者福祉、保健、医療などの充実に努めます。重点プロジェクトである子育て日本一プロジェクトの実現のため、婚活から妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援を行います。

主な施策

- 地域包括ケアシステムの充実
- 避難行動要支援者の安全確保の充実
- 地域子育て支援体制の確立
- 障害のある方に対する正しい理解の促進
- 地域包括支援センターの充実
- 認知症対策の促進
- 職業能力開発の推進
- 健康づくり体制の充実
- 地域医療の充実

Promoting Health and a People-friendly Environment
We promote town development where people can feel sense of happiness through improving the medical and welfare environment.

创建健康温和的城市环境
推进医疗&社会福利环境的发展，让每个市民居住在这里都能感受到幸福。

新エネルギーの普及促進

神栖市の風景としてすっかり定着した風力発電は、地域住民の健康、生態系や自然環境などに十分配慮して運用されています。



計画
5

自然環境と調和したまちづくり

水辺と緑の自然に彩られた
まちを未来へつなぐ

自然環境に恵まれた神栖市。豊かな自然を守り育てるため、市民の自然保護意識の高揚を図るとともに、市民、事業者、行政が連携し、自然環境の保全に協力して取り組みます。また、市民の憩いの場である公園を整備するとともに、公園利用者の安全と安心の確保に努めます。



市民ボランティアによる花植え

市内7カ所に設けられたフラワーロードに市民ボランティアの協力による花苗の植栽を実施しています。植栽から管理まで任せる里親制度も活用しています。

市民の憩いの場としての公園整備

市民の憩いの場として防犯面や災害防止にも配慮しながら公園を整備するとともに、効率的な維持管理と改築などに努めます。



主な施策

- 環境意識の高揚
- 新エネルギーの普及促進
- 市民参加による美化活動の促進
- 都市公園等の機能の充実
- 公共施設緑化の推進

Harmonizing with Nature

We will work to pass on our nature full of water and greenery to the future.

创建与大自然和谐共存的城市环境

致力于推进可持续性发展，将这个被水和绿色包围的多彩城市的发展延续到未来。

憩いと賑わいの創出

かみす防災アリーナは、地域の防災拠点と位置づけられ、災害時には避難所として、また平常時にはスポーツなどを通じた市民の健康づくりに寄与するとともに、各種イベントの開催により多くの人が集い、市の中心部にふさわしい賑わいを創出します。



人にやさしい道づくりを推進

歩道のバリアフリー化を積極的に推進するとともに、歩行者および自転車利用者の安全な通行を確保するため、あんしん歩行エリアを中心とした歩行者優先の道路づくりを推進します。



商業・業務系機能の誘導

神栖市の玄関口でもある鹿島セントラルビル周辺地区に中核的な商業・業務・サービス支援機能などの立地を促進するとともに、中心市街地にふさわしい既存商業・業務施設の質的向上に努めます。

暮らしやすさを優先した上質なまちづくりを進めます。神栖市都市計画マスタープランに基づき、都市的土地利用と自然的土地利用の均衡がとれた土地利用を推進します。さらに、交通渋滞解消のため主要な幹線道路の整備を促進するとともに、良好な住宅地の形成を図るため、開発に対する適切な指導を行い、優良な宅地の供給の促進に努めます。

計画

6

くらしの質を高める
まちづくり

良好な生活環境で、
誰もが住みたくなるまちへ

主な施策

- 計画的な土地利用の推進
- 地区計画導入による地域整備の促進
- 無秩序な開発の抑制
- 市道の整備
- 公共交通機関の連携や充実
- 優良宅地の供給促進
- 安全を確保する水の管理
- 火葬場や斎場運営の充実
- 公共施設のインターネット環境の充実
- 公共下水道事業の推進
- 各種環境調査や常時監視体制の充実
- ごみ分別収集の推進

Improving the Quality of Life
We promote town development that attracts people to live in this city through a comfortable living environment.

创建高生活品质的城市环境
成为生活环境优质，大家都想来居住的城市。

鹿島臨海工業地帯の立地環境整備

臨海コンビナートとしての優位性を生かして、最適な立地環境の実現を図るとともに、進出企業にとって有益な制度の充実に努めています。



計画

7

産業活力にあふれたまちづくり

豊かな可能性とともに、
飛躍・発展していくまちへ

神栖市の今後の産業の発展のためにさまざまな支援を行っていきます。農業の魅力のPRや若い世代の就農、安定経営を支援します。また、関係機関との連携を図りながら企業立地を促進し、PR活動を推進します。そして、活力と魅力にあふれた商店街づくりや新たなサービス産業の育成を促進します。

また、スポーツツーリズムや地域資源を生かした観光の推進を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした取り組みなどにより交流を促進します。



漁港機能の強化促進

災害に強い漁港の拡充整備を進めるとともに、高度な衛生管理など、利便性の高い機能的な漁港施設の整備を促進し、生産・流通・加工の拠点として総合的な漁港整備を図ります。

農産物のブランド力強化・普及

ピーマンをはじめとした神栖市農産物の商品価値向上を図るとともに、ブランド力を強化し、ピーマン日本一のまちとしてのPR活動を推進します。



主な施策

- 優良農地の保全・集約化
- つくり育てる漁業の推進
- 企業の誘致
- 地域ニーズに対応したサービス産業の育成
- 鹿島港防波堤の早期完工
- 国際バルク戦略港湾の整備推進
- 市のイメージアップと観光PRの推進
- 広域観光ルートの整備

Promoting Economic Vitality
We will work to enhance and develop a thriving industry along with our abundant potential.

追求产业活力充沛的城市发展
伴随着丰富的可能性，城市产业向着飞跃发展的方向前进。



指定管理者制度の効率的な活用

多様化する市民ニーズに応え、より良いサービスを提供するため、指定管理者制度の効率的な活用などを検討しています。



行政の透明性・信頼性の向上

市政に関する情報の提供を一層充実させるとともに、個人情報取り扱いに対する職員意識の高揚やセキュリティの強化に努めます。



市民サービスの向上

窓口業務についてより一層の充実をめるとともに、「困りごと相談室」を設置し、担当部署や適切な相談機関との連携を図ります。

計画

8

健全な行財政のまちづくり

将来を見据え、
行財政改革を推進します

簡素で効率的な行政運営を目指し、必要に応じた行政組織の見直しを行い、職員数の適正化を図るとともに、職員個々の能力を生かした適材適所の人材活用に努めます。また、多様化する市民ニーズに対応できる行政サービスを提供するため、庁内の協力的体制づくりや職員研修を実施し、総合窓口の充実に努めます。歳入においては、適切な事業選択をし、財源確保を図ります。

主な施策

- 計画的・戦略的な施策の推進
- 時代に適合した組織づくり
- 窓口サービスの向上
- 収納率の向上
- 経常経費の節減
- 広域行政の推進

Promoting a Sound Administrative and Financial System
We promote administrative and financial reforms for a secure future.

健全的行政财政建设
看准未来，推进行政财政政策改革。

Aiming to Become the Top Sports Tourism Destination in Japan
“Let's have a training camp in Kamisu!”

“Let's go to Kamisu to watch the game everyone's talking about!”

Hundreds of thousands of people visit Kamisu from all over the country. Blessed with a mild climate throughout the year, Kamisu has the best facilities for sports with about 100 soccer fields and an excellent environment for enjoying marine sports. Currently, sports tourism is gaining attention throughout the country. We will look into the sports resources Kamisu takes pride in from 3 different perspectives: compete, watch, and support.

体育旅行

以成为日本第一的体育运动城市为目标
因为例如“在神栖进行运动集训吧！”“去神栖看喜爱的比赛吧！”等原因，每年有很多人从全国各地来到神栖市。这里一年四季气候温暖如春，这里还拥有约100个足球场等种类丰富，装备齐全的体育设施，并且还是享受海上运动的绝佳地点。在全国人民对体育旅行高度关注的今天，我们从“竞赛”“观看”“支持”三个角度出发，探讨神栖市引以为豪的体育资源。

スポーツ リゾート

Sports Tourism

スポーツタウン日本一を目指して

「神栖でスポーツ合宿をしよう！」

「注目の試合を見に神栖へ行こう！」と、

全国から大勢の人が神栖市を訪れます。

一年を通して温暖な気候に恵まれ、

約100面のサッカー場をはじめスポーツ施設が充実し、

マリンスポーツも楽しめる絶好の環境。

全国的にスポーツツーリズムへの関心が高まる今、

「競う」「観る」「支える」という3つの視点から、

神栖市の誇るスポーツ資源に迫ります。



支える



観る

©KASHIMA ANTLERS



競う

競う

観る

支える

芝生グラウンドが豊富にあり、さまざまなスポーツの合宿や大会開催地となっている——



サッカー合宿の聖地

神栖市は全国に知られるスポーツ合宿の聖地で、年間約30万人が訪れます。有名になったきっかけは、波崎旅館業協同組合の二十数軒が、それぞれ専用グラウンドを整備したこと。年間を通して練習できる温暖な気候で、宿の近くにグラウンドがあり、他チームと練習試合が組みやすいなど、理想的な環境が整っていることから人気の合宿地となりました。

サッカーが盛んな神栖市には、現在、官民合わせて約100面にものぼるサッカー場があります。サッカー合宿が盛んで、有名な強豪チームも合宿や練習試合をしています。

また、天然芝のグラウンドはラグビー、アメリカンフットボール、フットサル、ラクロス、アーチェリーなどにも活用が可能。さらにテニスコート、野球場、体育館なども充実しており、スポーツ合宿は幅広い競技に広がっています。

充実したスポーツ施設

市内各所にスポーツ施設がある神栖。神之池緑地は、陸上競技場、体育館、武道館、野球場、テニスコートなど、スポーツ施設に囲まれたエリアです。

海浜運動公園には、県内屈指の規模を誇る24面のテニスコートをはじめ、サッカー場、野球場、ソフトボール場、温水プールなどが集まっています。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

①全国から強豪が集うサッカー大会 ②・⑤テニスコート24面を備える神栖海浜庭球場 ③神栖海浜野球場
④マリンスポーツが楽しめる海岸 ⑥武道館柔道場 ⑦はさきさわやかランニング大会 ⑧武道館弓道場

Pick Up

かみす防災アリーナ

2019年6月にオープン。防災拠点であるとともに、スポーツツーリズムの新たな拠点となっています。最大5,000席、プロバスケットボールリーグの公式戦も行えるメインアリーナをはじめ、温水プール、充実したトレーニング室などを完備しています。



ほかにも、矢田部サッカー場、若松運動場、波崎体育館、豊ヶ浜運動公園などが整備されています。

さまざまな大会

市内のスポーツ施設で数多くの大会が開催されています。「波崎ユースカップサッカー大会」と「横山杯全国ユースサッカー大会」は、ユース世代のトップチームも参戦する国内有数の大会です。

「神栖市はさきさわやかランニング大会」は、波崎海水浴場や波崎漁港周辺の平坦なシーサイドコースで、市民ランナーに人気です。これからもさまざまなスポーツ大会を誘致・開催し、スポーツタウン日本一を目指します。

観る

競う

支える

プロスポーツなどのハイレベルな試合が観戦できるまち
神栖——



鹿島アントラーズホームタウン

初のアジアチャンピオンに輝くなど、目覚ましい活躍が続く鹿島アントラーズ。試合観戦の醍醐味は、応援の熱気でスタジアムが一体となること。でもホームタウンの楽しみは、それだけではありません。市内のサッカー場、イベント、学校、お店や公園などで選手たちと会えるチャンスも。サッカーファンにはたまらない、Jリーガーと身近にふれあえるまちです。

2つのフレンドリータウン

一つ目はBリーグプロバスケットボールチームの「サイバーダイン茨城ロボッツ」。2013年に誕生しB2リーグ制覇・B1昇格を目標に活躍しています。二つ目は「茨城アストロプラネッツ」。茨城県内を本拠地として2019年からプロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグで活躍するプロ野球球団です。プロスポーツならではのハイレベルな試合が、かみす防災アリーナと神栖海浜球場を舞台に繰り広げられます。

オリンピックイヤーに向けて

鹿島アントラーズのホームグラウンドであるカシマサッカースタジアムが、東京2020オリンピック競技大会のサッカー会場に決定。国内7会場のうちの1つです。男子サッカー・女子サッカーとも、



1



2

© IRSE AkihideTOYOSAKI



3



4

© KASHIMA ANTLERS



5

© IRSE AkihideTOYOSAKI



6



7



8

1・3茨城アストロプラネッツ 2・5サイバードアイン茨城ロボッツ 4鹿島アントラーズ
6茨城波崎SURFING GAMES 7グラウンド・ゴルフ(いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会) 8テニス(いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会)

Pick Up

港公園とユーリカ号で絶景を望む

神栖市のシンボルでもある港公園展望塔からは、鹿島臨海工業地帯の大パノラマが眺望できます。巨大な工場群や、鹿島港を行き交う巨大貨物船はまさに絶景。さらに鹿島臨海工業地帯を、海から眺められるのが遊覧船ユーリカ号。約45分間の快適なクルーズが楽しめます。



一次ラウンドに加え準々決勝、準決勝など注目度の高いゲームが行われます。もう一つ話題を集めているのは、今大会でサーフィンが初めて正式種目となったこと。波崎海岸はサーフスポットとして有名で、30年以上前からサーフィン大会が開催されてきました。オリンピックを機に、より多くの人にサーフィンに親しんでもらおうと盛り上がっています。ほかに、チュニジアオリンピック委員会と事前キャンプの基本合意書を締結するなど、着々と準備を進めています。

支える

競う

観る

舞台裏では施設を管理する人やボランティアなど、さまざまな人がスポーツを支えている——



芝生を管理する

波崎旅館業協同組合 代表理事 青野竜也さん

天然芝のサッカー場を求めて全国から訪れる人たちのために、芝刈り、傷んだ芝の張り替え、くぼみの補修などこまめな手入れが欠かせません。また、一年中緑の芝生を維持するため、秋に夏芝の上から冬芝の種をまいて春ごろまで緑のグラウンドを保ち、春先には冬芝をわざと枯れさせて夏芝が育ちやすいように工夫しています。合宿や大会で訪れた学生さんから「緑だ〜!」と歓声が上がリ、練習や試合に満足してもらえた時に大きなよろこびを感じます。

合宿所で快適な環境をつくる

波崎旅館業協同組合 婦人部長 ミンジョンやまざき 山崎早苗さん

一番の願いは、皆さんがケガなく無事に合宿を終えて帰ること。大切な命を預かる仕事なので、24時間気が休まることはありません。スタッフの勉強会を年に4回実施。食事は衛生面を最優先に調理し、アレルギー対応食も用意しています。サッカー合宿に来た小・中・高・大学生が館内に一堂に揃う瞬間は感動の一言。少年のころ合宿に来た子が監督として生徒を引率してきたときは、ジーンとききました。気持ちは「はさきの母」。この仕事を通してたくさんの素敵な出会いに恵まれました。





サーフボードをつくる

サーフボードショップLAP-BEAT 高梨一男さん

40年近く前、自分に合うボードを作ろうとしたのが始まり。人によって乗りやすい形は少しずつ違います。材料を削って形にして、実際に乗って確かめて、調整する。その作業を延々と繰り返し、形が決まったらプラスチックを巻いて磨きをかけて完成。これまでに作った総数は1,000枚を超えます。ボードとの出会いは大事ですが、ボードが良ければサーフィングが上達するとは限らないのが難しさ。何年やっても終わりのない世界です。



海の安全を守る

ジャパンウォーターパトロール 宮崎康夫さん
太田憲智さん

さまざまな水上スポーツの大会などで、ボランティアでパトロール活動をしています。使用するのは、レスキューレッド(水難救助用ボート)を装備した水上オートバイと、広い砂浜を素早く移動するための四輪バギー。水陸両方で待機し、無線や電話で情報を共有しながらチームで見守ります。みんなが海でスポーツを楽しめる環境をつくることにやりがいを感じます。私たち自身も好きな海で過ごす時間を楽しみながら、これからも続けていきます。



茨城国体をサポートする

いきいき茨城ゆめ国体ボランティア 山田孝志さん
松本久男さん

神栖市の国体ボランティアの皆さんは、2018年のリハーサル大会では受付や美化活動、記録写真の撮影などを担い、ほかにもさまざまな場でPR活動のお手伝いをしています。楽しみは、日本各地の競技関係者と話ができること。国体本番では、選手や関係者が思う存分実力を発揮できるよう支えるとともに、全国から訪れる皆さんに神栖の魅力を知ってもらいたいと思っています。



鹿島アントラーズ DMO

鹿島アントラーズのブランド力を生かし、サッカーをはじめとするスポーツ合宿や地場産業を活用したスポーツツーリズムを推進しています。2018年1月に神栖市、鹿嶋市、潮来市、行方市、銚田市の鹿行5市と株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シーなどで発足。カシマスタジアムのピッチで宿泊する「アントラーズスタジアムキャンプ」や、北浦を1周する「茨城100Kウルトラマラソンin鹿行」などを開催しています。

スポーツとまちづくりの 未来を語る



鹿島アントラーズ テクニカルディレクター

ジーコ

神栖市は、鹿島アントラーズのホームタウンとして、また年間約30万人が訪れるスポーツ合宿の聖地として全国に知られています。東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けスポーツへの関心が高まる今、鹿島アントラーズテクニカルディレクター（TD）のジーク氏と石田進市長が、スポーツを通じたまちづくり・人づくりをテーマに、市民や選手への思い、未来の可能性などについて語り合いました。

Discussing the Future of Sports and Town Development

Susumu Ishida Mayor of Kamisu

Zico Technical Director of Kashima Antlers

Kamisu City is known throughout Japan as the hometown for Kashima Antlers and also as a mecca for training camps where about 300,000 people visit annually. One of the main reasons that attract visitors to Kamisu is that the city has an excellent environment to enjoy both watching and playing various types of sports. Now, there is a growing interest in sports as Kashima Antlers wins the first ever Asian Championships League title and with the upcoming Tokyo 2020 Olympics and Paralympics. This is the perfect opportunity for Kamisu to let the world know about its attractive city. Here, Zico, the technical director of Kashima Antlers and Susumu Ishida, the mayor of Kamisu share their feelings toward the citizens and the players as well as their ideas on the future possibilities for Kamisu City as they discuss on the topic of town development and human development through sports.

讲述体育与城市建设的未来

神栖市市长 石田进 × 鹿岛鹿角足球队技术总监 济科

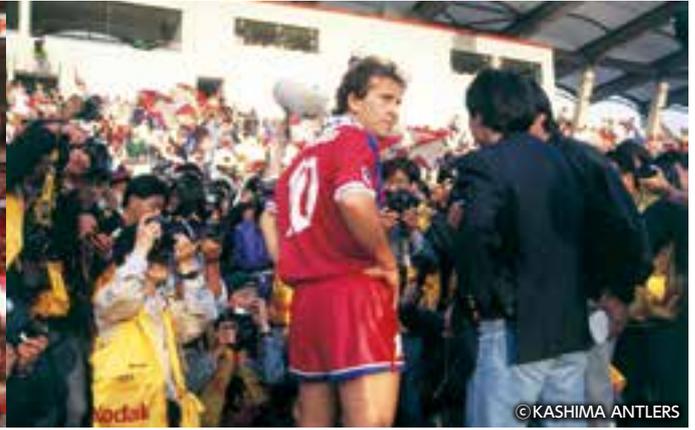
神栖市，作为鹿岛鹿角足球俱乐部的主场，同时也作为每年约有30万人访问的体育集训圣地而享誉全日本。能够充分享受“竞技的乐趣”和“观看的乐趣”的运动环境，是神栖市的一大魅力。现在是鹿岛鹿角足球队首次称霸亚洲的光辉时刻，同时也是社会对东京奥林匹克运动会、残疾人奥林匹克运动会的关注高涨的重要时期，正是重新凝视神栖城市魅力，扩大城市宣传的绝佳机会。因此，鹿岛鹿角足球队技术总监（TD）济科先生和石田进市长，以体育创建城市、培育人才为主题进行了谈话，讨论了对市民和选手的所想，以及关于未来的可能性等问题。

神栖市長

石田進



スタンドに掲げられるフラッグ



現役時代のジーコ選手(鹿島アントラーズ)

ホームタウンとの絆

石田市長 今日ではジーコさんとの対談が実現し、大変うれしく思っております。どうぞよろしく願っています。

ジーコTD こちらこそ光栄に思うとともに、クラブハウスにお越しいただきに感謝しております。私が初来日したときに宿泊したのが鹿島セントラルホテルです。その時から神栖市とはご縁があります。今回、神栖市の皆さんに向けてお話しできるのを楽しみにしていました。

石田市長 昨シーズン(2018年)は鹿島アントラーズが見事アジアチャンピオンに輝き、神栖市民はみんな喜んでます。誠にありがとうございます。

ジーコTD ありがとうございます。

石田市長 実は序盤戦で厳しい試合が続く鹿島アントラーズを、心配していたんです。しかしジーコさんがテクニカルディレクターに就任されたとたん、見違えるほどの快進撃が繰り広げられました。

ジーコTD 決して私一人で成し遂げたわけではありません。鹿島アントラーズのスタッフには「みんなでやり遂げるという気持ちで、自信を持って取り組んでほしい」と、また選手たちには「自分の能力を信じてプレーすれば、必ずと結果はついてくる」と伝えました。個の自信が高まれば、チームとして非常に大きな力を発揮できます。それぞれが自分の役割を意識して取り組んだ結果、皆さんが



待ち望んでいたアジアチャンピオンのタイトルを手にすることができたわけです。

石田市長 「ジーコイズム」と称されるジーコさんの考え方は素晴らしく、私もまちづくりを進める上で大変参考にしております。今後も鹿島アントラーズの活躍を神栖市民みんなで応援していきます。

ジーコTD いつも大勢の神栖市民がカシマサッカースタジアムに来場し、鹿島アントラーズを応援してくださるのは何よりありがたいことです。鹿島アントラーズはホームタウンの皆さんのおかげで成立しているクラブであり、ホームタウン、クラブ、サポーターが力を合わせてここまでできました。私は選手たちに、「ホームタウンを誇りに思い、その期待に応えるためピッチで全力を尽くしてほし



ロングパイル人工芝ピッチを有する矢田部サッカー場



アジアチャンピオンという偉業を成し遂げた鹿島アントラーズ



和やかな雰囲気の中で対談が行われた

い」と常に求めており、今後も皆さんと共に歩んでいきたいと思っています。加えて、神栖市のまちづくりが成果をあげてくれることを願っています。

スポーツのまちづくり

石田市長 ここで改めて、ジーコさんに神栖市をご紹介させていただきます。神栖市の人口は約9万5千人で、鹿島臨海工業地帯の中心に位置しています。製造品出荷額は茨城県で第1位。それからピーマンの出荷量が日本一ですし、今話題のサバ、イワシの水揚げ量も県内一です。これら工業・農業・水産業に加えスポーツを盛り上げようと、スポーツのまちづくりを進めています。

ジーコTD とても魅力的ですね。工業・農業・水産業で1位、さらに神栖市がスポーツの分野、特にサッカーでも1位になることを願っています。

石田市長 実は神栖市にはサッカー場が約100面あり、サッカー合宿が盛んなまちとして全国に知られています。

ジーコTD サッカー合宿については、高校でコーチをしているブラジル人の知り合いに、「よく神栖市で合宿をしているので、施設が充実している」と以前から聞いていました。

石田市長 この神栖市に、全国から小・中・高校生、大学生、社会人などあらゆる世代の皆さんが集まってもらい、「いつでも練習ができる」「いつでも交流試合



ができる」「いつでも指導者がいる」「いつでも体のメンテナンスができる」というようなスポーツのまちづくりを、サッカーを中心にイメージしています。

ジーコTD 100面のサッカー場を利用して神栖市で優秀な選手が育ち、やがて鹿島アントラーズで活躍してくれることを心待ちにしています。機会があれば、ぜひ神栖市のサッカー場へ選手たちのプレーを見に行きたいですね。

石田市長 それは楽しみです。神栖市はこれだけサッカーの環境が整っているのですから、『ジーコカップ』と銘打って、日本一のサッカー大会を開催するというのはいかがですか？

ジーコTD 私個人として、この場を借りて『ジーコカップ』開催を許可しま

鹿島アントラーズテクニカルディレクター ジーコ

1953年ブラジル・リオデジャネイロ生まれ。ブラジル代表としてFIFAワールドカップに3度出場した世界的なスター選手。ブラジル最優秀選手、南米年間最優秀選手をはじめ多数のタイトルを獲得。通算1180試合、831ゴールを誇る。1991年来日し、1993年には鹿島アントラーズをJリーグ(サントリーシリーズ)初優勝に導く。2018年に再来日し、鹿島アントラーズのテクニカルディレクターに就任。

Zico Technical Director of Kashima Antlers/Born in 1953 in Rio de Janeiro. Regarded as one of the greatest football players worldwide, he represented Brazil in FIFA World Cup 3 times. Accomplishments include the Bola de Ouro and the South American Footballer of the Year. He scored a total of 831 goals in 1,180 matches. Zico came to Japan in 1991 and led the Kashima Antlers to their first victory in the J.League (Suntory Series) in 1993. In 2018, he returned to Japan and became the technical director for Kashima Antlers.

鹿島鹿角足球队技术总监 济科 /1953年出生于巴西里约热内卢。作为巴西代表曾三次出战FIFA世界杯的世界级明星选手。获得了巴西最优秀选手、南美年度最优秀选手等众多荣誉。总计参加1180场比赛，以831颗进球闻名世界。1991年来日本，1993年领导了鹿岛鹿角足球队在日本职业足球联赛(三得利系列)的首次优胜。2018年再次来日本，就任鹿岛鹿角足球队的技术总监。

しよう(笑)。現実には、鹿島アントラーズの許可を得る必要がありますが……。もし開催が実現したら、開幕のキックオフと決勝のトロフィーあるいはメダルの贈呈を私が担当しましょうか？

石田市長 願ってもないことです(笑)。大いに盛り上がるでしょう。

ジーコTD スポーツを通じたまちづくりは素晴らしい取り組みです。この機会に一つ提案があります。スポーツだけではなく、それ以外の娯楽も一緒に楽しめればもっとまちの魅力が高まるのではないでしょうか。海外的な発想ですが、例えばサッカーの後にシヨロを見たり映画館に行ったりするというように。

石田市長 それは良いですね。一つ新しいニュースがあります。かみす防災アリーナが今年(2019年)6月に完成します。最大で5000人を収容できるアリーナで、館内には音楽ホールや温水プールもあり、スポーツと文化の両方を楽しめます。

ジーコTD それはグッドニュースです。かみす防災アリーナで注目を集めるイベントが開催されることを願っています。

2020年に向けて新たな一歩

石田市長 いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック大会が間近に迫りました。神栖市はチュニジアのオリンピック委員会と事前キャンプの協定(※)を結び、迎える準備に入っています。

サッカーは人づくりにおいて重要なスポーツと言える。

——— ジーコTD

地域づくりは人づくりだと思っている。

——— 石田市長



神栖市スポーツレクリエーション祭2018



かみす防災アリーナ

ジーコTD それでは私も今日からチュニジアを応援することにしましょう(笑)。

実は、私はスペシャルオリンピックックス大使を務めています。現役時代から障害者スポーツの振興に取り組み、引退後はブラジル初のスポーツ大臣として障害者スポーツの部署を新設し、普及活動に乗り出しました。非常に優れた人たちが障害者スポーツの選手として活躍しており、人間教育という面でも大きな意味があると考えています。リオオリンピックに続いて開催されたリオパラリンピックも素晴らしい大会でした。多様な障害者スポーツ競技が実施されるのは喜ばしいことです。神栖市としても何らかの形で第一歩を踏み出していただけるよう、スペシャルオリンピックックス大使としてお願いします。

石田市長 今年のいきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会の競技会場として、障害者グラウンド・ゴルフの全国大会を開催します。ジーコさんがおっしゃられた障害者スポーツに加え、これまでも神栖市では「健康長寿」を目指した生涯スポーツに力を入れてきました。誰もがより一層気軽にスポーツを楽しめるよう、環境を整えているところです。

スポーツを通じた人づくり

石田市長 今日ジーコさんにお目にかかり、対談という貴重な時間をいただいて強く感じたのは、ジーコさんの考えを一人でも多くの子どもや選手に伝えたいとい

うことです。それを、スポーツを通じた人づくりにつなげていきたいと思えます。

ジーコTD スポーツにはアスリートを育成する目的もありますが、やはり石田市長がおっしゃるように入づくりを忘れてはなりません。アスリートである前に、立派な社会人であることが重要です。サッカーは、人づくりに対して非常に重要なスポーツと言えます。なぜなら、ピッチに入ったらルールに則って勝負をし、その中で仲間を尊重し、相手を尊重し、レフェリーを尊重しなければなりません。そこから非常に多くのことを学ぶことができます。プロアスリートになれなくても、基本的なルールを守る精神はどの分野でも生かされますし、それによって素晴らしい社会、素晴らしい未来を手にすることが出来ます。スポーツを通じた人づくりが実を結び、将来、明るい日本、明るい神栖市になるよう願っています。

石田市長 非常に分かりやすくお話しいただき、感銘を受けました。私自身、地域づくりは人づくりだと思っており、スポーツを通していかに子どもたちの健全育成につなげていくか、いかにしっかりととした考え方を持つ青少年を育てていくかが重要だと捉えています。

ジーコTD サッカーというスポーツは個人の能力がズバ抜けていてもダメで、個人の能力がチームのために機能しなければ何の意味もありません。チームとして周りを意識しながらプレーすることが求



鹿島アントラーズクラブハウス

市内には約100面のサッカーグラウンドがある

鹿島アントラーズによるサッカー体験教室

められ、ルールを守りながら集団で成し遂げることが重要です。そういうサッカーを子どもの頃から続けていくうちに、両親も深く興味を持つようになり、家族の結束も強まっていく。その家族がまた別の家族を手伝うようになることで、社会づくりに貢献していけるのではないのでしょうか。そういう意味でも石田市長の取り組みは非常に素晴らしいものです。

石田市長 ありがとうございます。温暖な気候に恵まれた強みを生かし、スポーツ環境をさらに整えることで、全国からジーコファンが集まってくるようにしたいと思えます。そのためには、ジーコさんの精神を、スポーツを通じた神栖市のまちづくり・人づくりに生かしていきます。

ジーコTD どんなに難しくても、信じて取り組めば夢を叶えることができる。それが私の信念であり、石田市長も同じだと思えます。今日は神栖市のさまざまプロジェクトについて伺い、私も何らかの形で手助けしたいという気持ちになりました。自分の隣人には幸せでいてほしいので、ぜひ神栖市の皆さんにも幸せになってほしい。そのために貢献したいと思えます。

石田市長 ジーコさんはみんなの宝です。今日は本当にありがとうございます。

ジーコTD こちらこそありがとうございます。

※「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプに関する基本合意書」(2018年11月締結) ※対談は2019年4月に実施しました

made in Kamisu

メイドイン 神栖

太平洋と利根川の豊かな水資源は、
神栖市のすべての産業をうるおしています。
このまちで共存しながら発展し続ける
「工業」「農業」「漁業」の今に迫ります。

Made in Kamisu
The abundant water resources of the Pacific Ocean and Tone River enrich all industries in Kamisu. Let's look at how the industries of manufacturing, agriculture, and fishery have continued to develop while coexisting in this city.

产自神栖——made in Kamisu
太平洋和利根川丰富的水资源，滋润着神栖市的所有产业。在这个城市里一边共存一边持续发展的「工业」「农业」「渔业」，现如今发展迅猛，让我们来看一下这里各行各业的发展吧。

工業

made in Kamisu

世界へつながる 鹿島臨海工業地帯

巨大タンカー、煙突群、穀物サイロ、製油所など、どこを見てもスケールの大きさに圧倒される鹿島臨海工業地帯。その中で日本を代表する「飼料コンビナート」に注目しました。

日本を代表する工業生産拠点

東京から約80キロメートルに位置する鹿島臨海工業地帯。鉄鋼、石油化学、飼料などの各コンビナート群が形成されています。世界有数の掘込式人工港である鹿島港には巨大な貨物船が行き交います。ここには約180社の企業が集まり、総従業員数は約2万人。日本の製造業を支える誇りを持ちつつ職住近接もかなう職場とあって、たくさんの神栖市民が働いています。

世界から運ばれてくる穀物

国内最大規模を誇る神之池西部地区の飼料コンビナート。ここに穀物・飼料の関連企業17社が集結。その中核をなす企業の一つが昭和産業(株)です。小麦・大豆・菜種・トウモロコシなど約20万8000トンを受容できる

サイロを持ち、年間約190万トンにもなる穀物を取り扱っています。

2011年には、鹿島港が「国際バルク戦略港湾(穀物)」に選ばれました。これは、大量の穀物を運ぶ拠点として重点的に整備していく重要港湾のこと。今後ますます発展が期待されます。

配合飼料の製造で日本一

さて、実は地元でもあまり知られていませんが、鹿島臨海工業地帯は配合飼料の製造で日本一。年間約420万トンもの配合飼料が製造されています。日本一になった理由は大きく3つあります。1つは、パナマックス級の輸送船を受け入れる岸壁が3つもあること。2つ目は、穀物サイロと工場がベルトコンベアでつながれ、原料の穀物をすみやかに運べること。3つ目は、茨城県や千葉県は畜産業が盛んで配合



巨大な船が行き交う鹿島港



鹿島港から各工場までベルトコンベアでつながっている



首都圏をはじめ全国各地へ飼料製品が輸送される

飼料の需要があることです。さらに、穀物の加工工場で出た副産物を、飼料製造に活用できるメリットもあります。例えば、昭和産業の製造過程で出たふすま^{※2}や脱脂大豆、菜種かすなどを、隣接する鹿島飼料(株)が飼料の原料として使うというように、環境にやさしい製造サイクルができています。

鹿島飼料では、豚用や鶏用など300種類近くもの配合飼料を作っています。何よりも重要なのは、安全・安心な配合飼料を作ること。食品に準じた取り組みをしています。それによって私たちは、おいしい肉や卵を安心して食べることができるのです。飼料コンビナートが、見えないところで日本の食を支えています。



日本最大級の飼料コンビナート

※1 パナマックス級：パナマ運河を通過できる最大級の船
 ※2 ふすま：小麦の表皮

工場見学

昭和産業株式会社
鹿島工場

そびえ立つ穀物サイロ群は、鹿島臨海工業地帯のシンボリックな風景。世界各国から運ばれてきた大量の穀物が最先端の技術で加工され、さまざまな製品となって送り出されています。日本の食を支える飼料コンビナートの最前線を知るため、食品メーカーで穀物取扱量が日本一^{*}の昭和産業(株)鹿島工場を見学しました。

^{*}同社調べ(2018年現在)



voice

恵まれた職場環境を
実感しています

小澤静香さん

生産課 製粉ユニット 2008年入社

鹿島臨海工業地帯には有名な大企業が集まっています。なかでも昭和産業は、商品をいつも家で使っていたので身近に感じていました。そんな知名度の高い会社まで自宅から車で5分。就職が決まった時、神栖市民はとても恵まれていると改めて感じました。



現在は装置の並ぶ製造現場を駆け回り、小麦から小麦粉を作る「粉碎工程」のオペレーターをしています。目標は安全・安心な製品を供給することとリーダーとして部下を育てることです。たくさんの経験を積み、将来は品質管理や出荷など幅広い業務に携わりたいと思っています。

仕事の合間の息抜きは、港公園を眺めること。夜勤の時は、美しい工場夜景を眺めるのが大きな楽しみ。この工場に勤務したからこそ見ることができる風景です。また、職場には地元出身の社員が多く、和気あいあいとした雰囲気にもなっています。





③巨大サイロ

地上 40メートル、8階建てビル並みの大きさです。世界各地から届いた穀物は、まずこのサイロに運ばれます。

小麦粉ができるまで

①穀物を荷揚げするアンローダー



大きな船艙から1時間に600トンもの穀物を吸い上げます。何万トンもの穀物があっという間に荷揚げ完了!

②小麦専用サイロ上部

ベルトコンベアで運ばれた小麦が、天井から伸びる配管を通して階下のサイロへ運ばれ、大切に貯蔵されます。



④ロール粉碎機



回転する2本のロールの間に小麦を通します。小麦の粒を細かく砕き、胚乳が取り出せるようにします。



検査を終えた製品を無人パレットで運び込みます。仕分け、保管、在庫管理、出庫まですべて自動化されています。

⑤シフター (ふるい機)



胚乳だけを取り出すため、粉碎とふるいの工程を繰り返します。ふるいの網目の大きさにより製品の種類が変わります。



⑥自動包装機



袋にノズルを差し込んで小麦粉を入れます。定量になったら粉漏れしないようしっかり封をします。

⑧出荷



大型の食品工場などには小麦粉をローリー車に積んで出荷。届いた先でさまざまな商品に加工されます。



⑦立体自動倉庫



voice

万全の体制で安全・安心を守っています

大石泰広さん

品質管理室 2004年入社

鹿島臨海工業地帯には日本を代表する企業が集まっています。私は、人の生活に欠かせない「食」に関する仕事がしたいと考え、昭和産業に入社しました。現在は、鹿島工場で作られた製品の品質管理を担当しています。目視検査から科学的な分析まで、万全の体制で安全・安心を守り、お客様の



求める製品を送り出すのが使命です。品質管理室の仲間や製造部門のメンバーと何でも言い合える風通しの良さがあり、それが良い仕事につながっていると実感しています。

家族は妻と2人の子ども。会社には子育てを応援する制度が整い、育児短時間勤務を利用して妻と協力しながら子育てをしています。職住近接のため、家族と過ごす時間をたくさん持てるのはありがたいですね。休日には神栖市内の公園で遊んだり、鹿島アントラーズの試合を観戦したり、家族で出かける楽しみがたくさんあります。



農業

made in Kansu



ピーマンと千両・若松 神栖で育つ“日本一”

みずみずしくて苦味が少なく、生でバリバリ食べられる安全でおいしいピーマン。出荷量全国一位を誇ります。千両・若松を加え、3つの日本一を紹介します。



ピーマン

農薬の使用を減らし、環境にやさしい農業に取り組んでいる。また、ミニパプリカも生産されている。



若松

日本一の出荷量を誇る若松。12月に最盛期を迎える。



千両

「がくや」でおおわれる千両畑。選定は一本一本、手作業で丁寧に行われる。

神栖のピーマンは年中“旬”

神栖市は日本一のピーマン産地。温暖な気候と水はけの良い砂質の土。神栖市にはピーマンを育てるうえで最高の条件が揃っています。しかし、ただ風土に恵まれただけではありません。日本一になったのは、生産者の努力のため。生産技術の高さは群を抜いています。

特徴は、一年を通して旬なピーマンを出荷できること。季節ごとに、春ピーマン・秋ピーマン・温室ピーマンを次々と収穫していけるからです。全国で唯一、安定した周年出荷を実現しました。

日本の正月を飾る千両・若松

千両箱に通じる名前から商売繁盛の縁起物とされる千両と、鬼や邪気を払うとされる若松。どちらも正月飾りに欠かせないもので、神栖市では大正初期から栽培されてきました。

千両は、竹を組んだ「がくや」と呼ばれる囲いの中で3年以上かけて育てられます。年末の最盛期になると、がくや内は一面の緑の間に赤い実が覗き、目にも鮮やか。一方、若松は樹齢3〜4年の若い小さな松のことです。東京卸売市場で茨城産の千両は6割以上、若松は8割近くのシェアを占め、その9割以上が神栖市産。市の特産品として全国に出荷されています。

made in Kamisu

漁業



サバの水揚げ県内一 日本有数の波崎漁港

ここ数年、青魚が注目され、サバ缶ブームが起きています。実は、それを陰で支えているのが波崎船団。ダイナミックなまき網漁業や多彩な水産加工品など、神栖市は「全国に誇る漁業のまち」という顔を持ちます。



まき網漁業

魚の群れを長さが約1,400メートルもある大きな網で取り囲み、網の底を狭めて引き揚げる漁法。



大潮祭

手子后神社の祭礼。
航海の安全と豊漁を祈願する。



鹿島灘はまぐり

身がふっくらとして弾力があり、
噛めば噛むほど旨味があふれ出る。



サバとイワシのまき網漁業

茨城県はサバの漁獲量がダントツの日本一で、イワシも常に全国トップクラス。なかでも波崎漁港は、サバ漁やイワシ漁で県内一の漁獲量を誇っています。

波崎漁港は江戸時代から続く歴史のある港で、黒潮と親潮がぶつかる沖合には、サバやイワシが回遊する良好な漁場が広がっています。この海で、まき網漁業船団によるダイナミックな漁が行われます。

波崎地区には水産加工業者が軒を連ねています。水揚げされたサバ、イワシ、サンマを冷凍し、主に水産加工品の原料として国内外に出荷。出荷量は年間13〜15万トン。なんと、県内シェアの7割近くを占めています。

希少な鹿島灘はまぐり

全国に知られる「鹿島灘はまぐり」は、県を代表する魚介類の一つ。お祝いの席には欠かせない縁起物です。この大切な鹿島灘はまぐりを守るため、厳しすぎると思うほどのルールを設けて操業してきたといいます。さらに、はまぐりの稚貝を放流する活動も続いています。漁師の皆さんが、獲る努力だけでなく守り育てる努力をしながら、おいしい魚介類を私たちに届けてくれます。

かみすの恵み



うどっぴ〜

神栖市特産のピーマンを使ったうどんです。赤ピーマン・青ピーマンをうどんに練り込み乾麺にしました。

ミニパプリカ

糖度 10～13 度とまるで果物のような甘さ。色鮮やかに料理を飾るのもおすすめです。



スイートカクテルペッパーピクルス

ピーマンとミニパプリカを使用した、色鮮やかで少し甘めのピクルスです。



カミスココくんサブレ

神栖市産の米粉、茨城県産のメロンを生地に使用し、ふっくらと焼き上げました。

大地の恵み



ピーまんサブレ

神栖市が出荷量日本一を誇るピーマンを、ビューレにして練り込んだサブレ。神栖市産米粉も使用しています。



ピーキャン

ピーマンの苦味をなくし、子どもにもおいしく食べてもらえるように、水あめにピーマンを練り込みました。



パプリカ餃子

神栖の特産品ピーマンとミニパプリカを具に使用。ほのかに甘みのある餃子です。



千両

日本一の出荷量を誇ります。正月用の飾り花として全国に出荷されています。



神栖メンチ

細かく切った神栖市産のピーマンを練り込みました。主要原料は全て国産を使用。おやつ感覚で食べられます。



若松

松の種を苗に育て、畑に植え、さらに3～4年かけて育てられ、ほどよい大きさの若松として出荷されます。



スイカ

メロン

水はけのよい砂地と温暖な気候に育まれるみずみずしいスイカとメロン。

水の恵み

鹿島灘と利根川に囲まれ、豊富な水資源と温暖な気候に恵まれた緑豊かなまち神栖市。このまちの人と風土が生み出す逸品を紹介します。



サバ缶

新鮮なサバを贅沢に使用。おいしさと栄養が、ぎゅっと詰め込まれています。



ホッキ貝とアンチョビーのパスタソース

地元で水揚げされたホッキ貝を贅沢に使用。市内で製造されているアンチョビーと合わせたパスタソースです。



いわし さくらぼし

百年に渡り受け継がれてきた伝統の逸品。すべて手作業で丁寧に仕上げたみりん干しです。



さば文化干し

脂ののったトロさばを塩ダレに漬け込み、やわらかく仕上げました。上品な味わいです。



はまぐり

高級品として有名な鹿島灘産は大粒で旨味成分が多いことが特徴です。



うなぎ

利根川河口でしらすうなぎ漁が行なわれ、全国で養殖されて市場に出回ります。



秋刀魚みりん干し

秘伝のみりんダレに低温で2日間漬けて熟成しました。柔らかく、骨まで食べられます。



神栖市地域特産品

市の魅力を発信できる商品を、神栖市の特産品として認定しています。

Kamisu event calendar

1月	初詣 ①	息栖神社・手子后神社	1月上旬
毎年多くの参拝客が訪れます。			
2月	神栖市はさきさわやかランニング大会 ②	波崎体育館周辺	2月下旬
風車を眺めながら2・3・5・10kmの4つのコースで競う長距離走大会です。			
3月	神栖市2輪ビーチレース大会 ③	日川浜海岸	3月下旬
迫力ある2輪オフロードバイクのレースです。関東を中心に多くの参加者が集まります。			
4月	かみす桜まつり ④	神之池緑地	4月上旬
神之池周辺には約3,000本の桜の木が立ち並び、お花見を楽しむ人たちが賑わいます。期間中の夜は桜の木のライトアップもあります。			
5月	港公園わくわく体験フェア ⑤	港公園	5月下旬
親子で緑に親しめる体験イベントや展望塔無料開放、花苗無料配布など催しものもりだくさん！			
7月	海水浴場開設	日川浜海水浴場・ 波崎海水浴場	7月中旬～8月中旬
遠浅で広い砂浜が広がる2つの海水浴場。海岸線には風車が立ち並びます。			
	かみすみなと祭り ⑥	大野原商店街	7月下旬
華やかな山車や神輿が登場し、商店街が活気に包まれます。			
	大潮祭 ⑦	手子后神社	旧暦6月15日に 近い土曜日、日曜日
航海の安全や豊漁を祈る、海の男たちの祭りです。この日は、波崎の漁船は出漁をやめて大漁旗をかざり、乗組員は神社に参拝します。			
8月	かみす七夕まつり ⑧	知手すずらん・港南通り	8月上旬
盆踊り、子ども神輿などイベントが目白押し。通りには華やかな七夕飾りが飾られます。			
	茨城波崎SURFING GAMES ⑨	波崎海岸	8月中旬
全国各地からサーファーが集まり、華麗な波乗りを披露します。			
	きらっせ祭り ⑩	波崎海水浴場および サンサンパーク周辺	8月下旬
みこしパレード、花火などイベントもりだくさん！			
9月	かみす^ぶ舞っちゃげ祭り ⑪	神栖中央公園	9月中旬
神栖のまちがよさこいで盛り上がります。全国から有名チームも参加します。			
	神栖花火大会 ⑫	神之池緑地	9月中旬
神之池から打ち上がる約6,000発の花火が夏の夜空を彩ります。			
10月	かみすフェスタ・消費生活展 ⑬	神栖中央公園・ かみす防災アリーナ	10月中旬
神栖市の農業・漁業や地元企業などのブースがもりだくさん。楽しく学ぶことができます。			
	芸術祭 ⑭	文化センター	10月中旬
絵画、陶芸、写真などの作品展示のほか、バザーやお茶会もあります。			
	菊花展 ⑮	文化センターなど	10月下旬から 11月中旬
立菊や懸崖、7本立など、大輪の菊の花が一堂に会します。			
12月	毎日新聞社杯波崎ユースカップサッカー大会 横山杯全国ユースサッカー大会 ⑯	矢田部サッカー場 および市内民間グラウンド	12月下旬
全国各地の高校生チームによるサッカー大会です。			

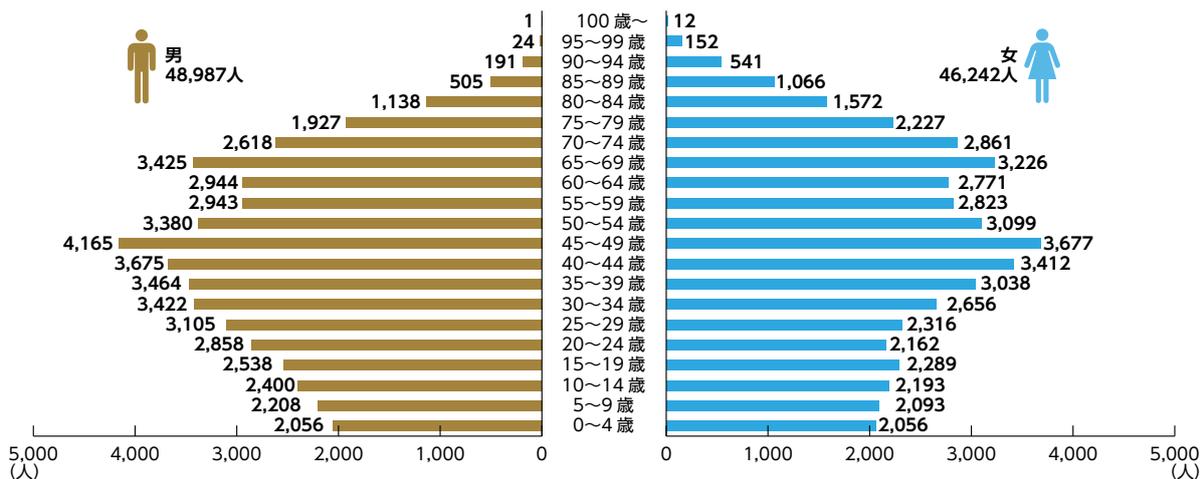
全国から笑顔が集う

神栖歳時記

神栖は一年中、楽しいことがいっぱい
大勢の人が訪れ、素敵な思い出がつくれます

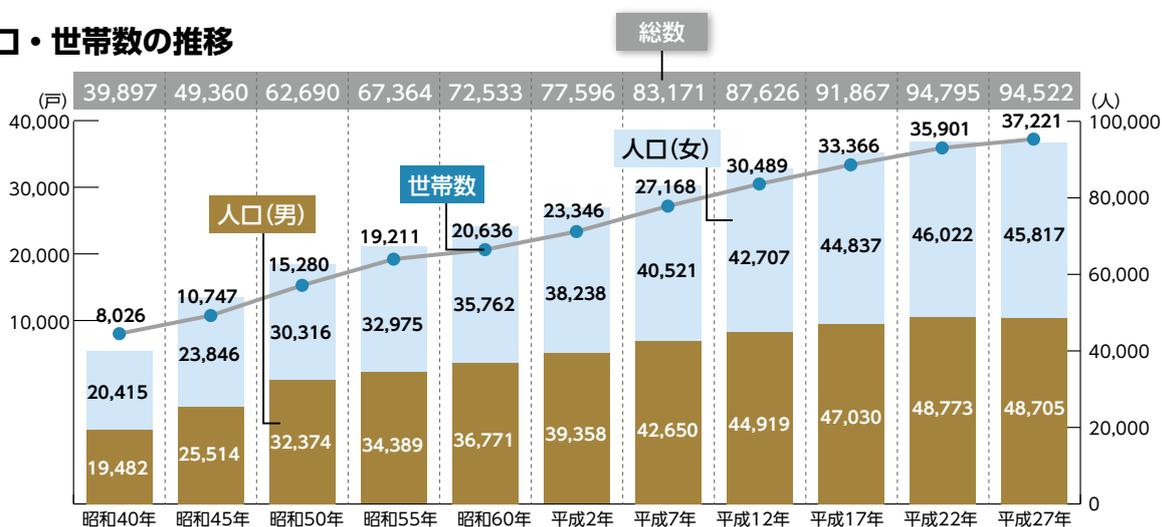


人口ピラミッド (5歳別人口)



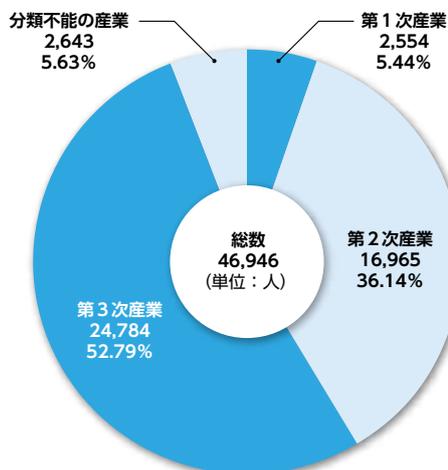
平成 31 年 3 月末日現在

人口・世帯数の推移



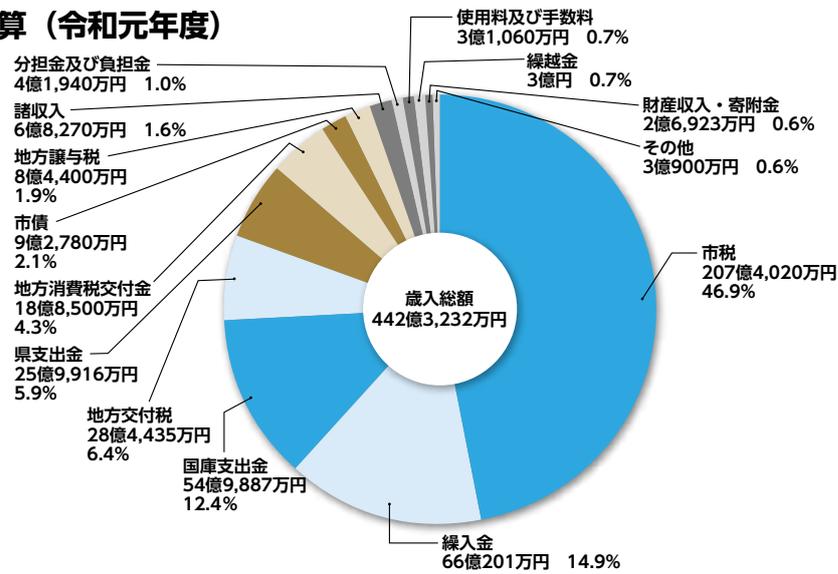
各年 10 月 1 日現在 資料：国勢調査

産業別就業者数

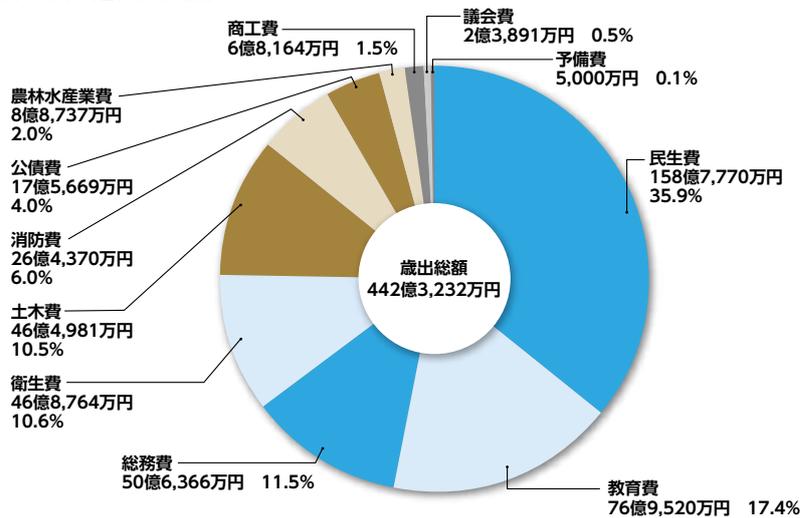


平成 27 年 10 月 1 日現在 資料：国勢調査

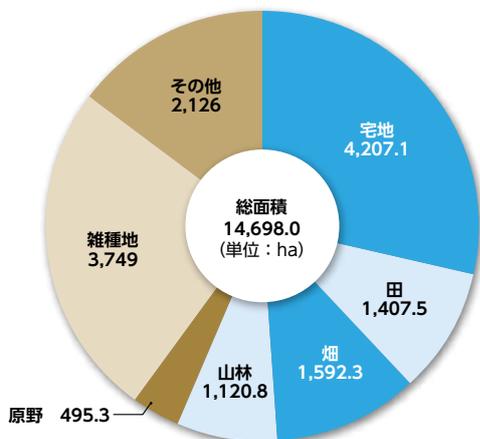
一般会計歳入予算（令和元年度）



一般会計歳出予算（令和元年度）



地目別面積



平成 31 年 1 月 1 日現在

主な農作物

区分	出荷量
ピーマン	27,490 トン
千両	1,945,000 束
若松	4,332,000 束

👑 出荷量日本一

👑 シェア日本一 **64.2%**

👑 シェア日本一 **74.4%**

※東京都中央卸売市場における茨城県産のシェア
茨城県産のうち、9割以上が神栖市産

資料：農林水産統計、東京都中央卸売市場統計（平成 29 年）

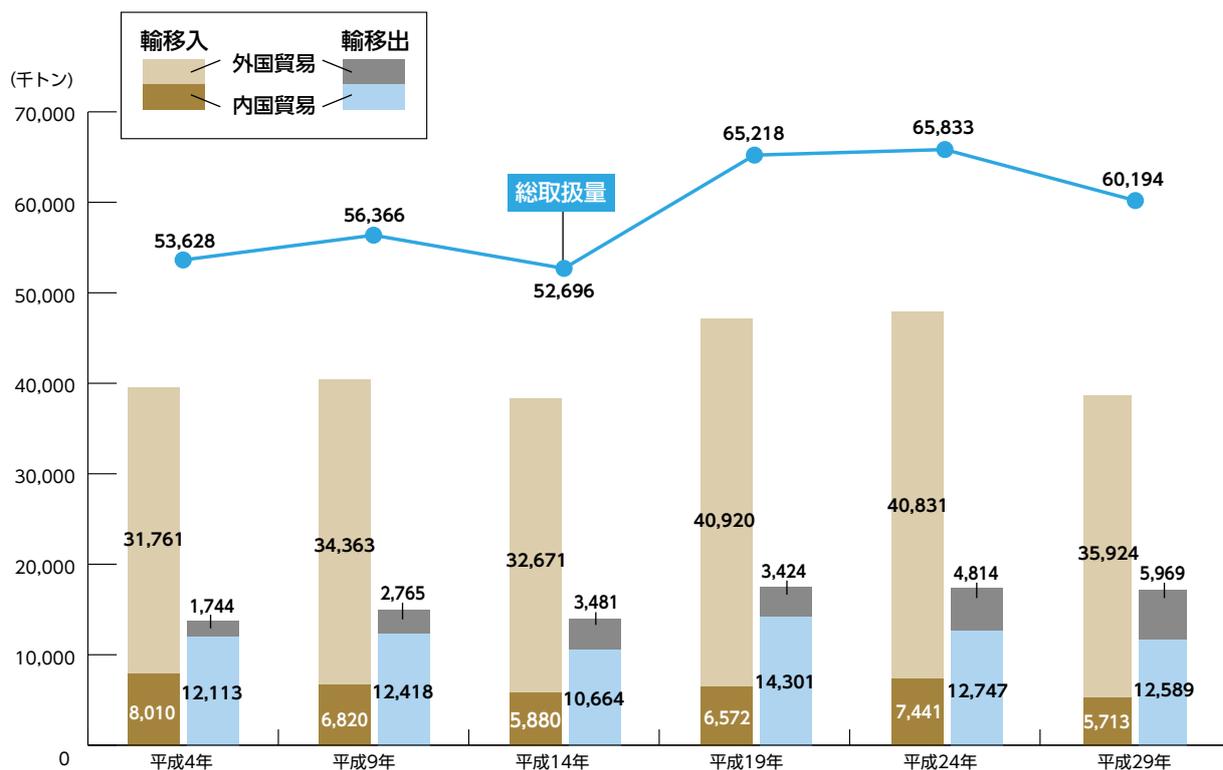
製造事業所数・従業者数等

事業所数(従業者4人以上)	182事業所
従業者数	13,435人
製造品出荷額	1兆4,896億9,265万円

👑 県内1位

資料：平成30年工業統計調査

鹿島港取扱貨物量推移



資料：鹿島港統計年報(平成29年)

魚種別漁獲量ベスト10



資料：農林水産統計年報(平成29年)

議 会 と 行 政



議場(議員席)



議長
藤田昭泰

副議長
後藤潤一郎



〈三役〉教育長
新橋成夫

市長
石田進

副市長
石川祐治



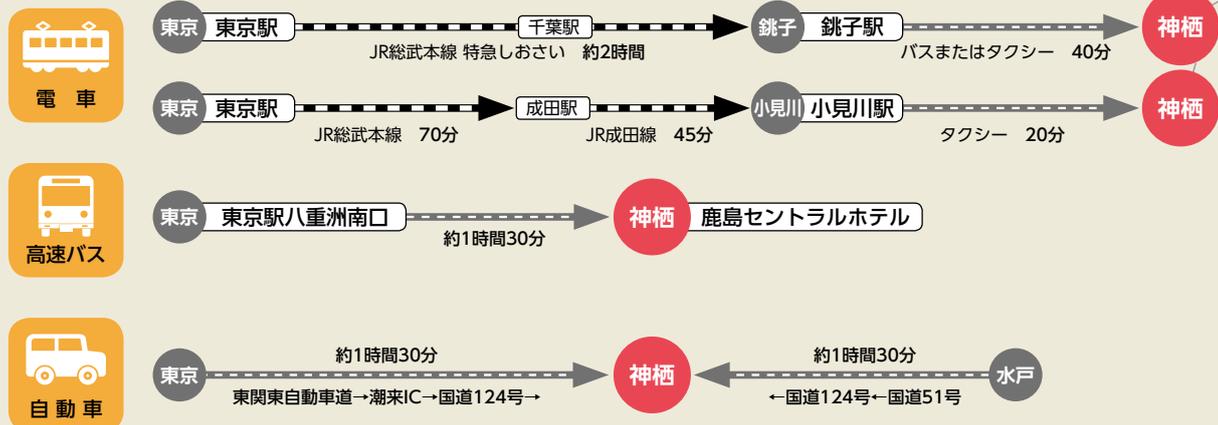
議場(執行部席)

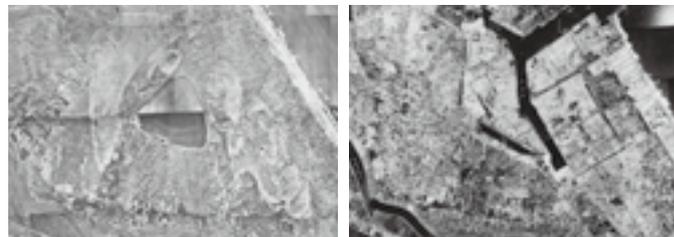


神栖市



アクセス





神栖市市勢要覧 2019

発行 茨城県神栖市
〒314-0192 茨城県神栖市溝口 4991-5
TEL 0299-90-1111 (代表) FAX 0299-90-1112
<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/>

発行日 令和元年 9 月

編集 市民協働課

制作 株式会社エリート情報社

A Profile of The City of Kamisu 2019

Issued in September 2019

Issued by the City of Kamisu, Ibaraki Prefecture

4991-5 Mizoguchi, Kamisu, Ibaraki, 314-0192, Japan

Phone: 81-299-90-1111 Facsimile: 81-299-90-1112

神栖市市況要覧 2019

2019 年 9 月発行

茨城県神栖市発行

邮编 314-0192 茨城県神栖市沟口 4991-5

电话 81-299-90-1111 传真 81-299-90-1112